



令和4年度市町村長の災害対応力強化のための研修の開催

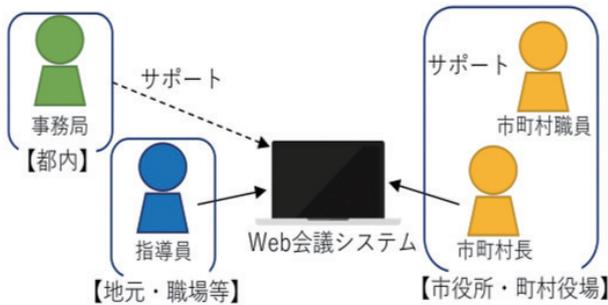
防災課

出水期を迎えるにあたり、消防庁では『市町村長の災害対応力強化のための研修』を以下のとおり開催します。

1 研修の概要

市町村長が、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面で、的確かつ迅速な判断・指示を行えるよう、市町村長の災害対応力の強化を図るための研修です。風水害をテーマに、研修指導員と「1対1」で、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面を警戒期、発災・初動対応期、避難生活期の3つに分け、それぞれの局面における必要な対応や意思決定についてシナリオ非提示型の実践的なシミュレーション訓練をWeb会議システムにて実施します。

<研修概要図>



【開催時期】

令和4年5月中旬～7月上旬

【対象者】

全国の市町村長 180名 (全9回×各20名)

【局面ごとの必要な対応や意思決定の例】

- ・市町村の災害対応体制の確立
- ・避難情報発令の判断
- ・大規模災害発生直後の被害状況の確認
- ・マスクミ対応

2 研修実績

■ 受講人数

- ・平成30年度 50名 (対面形式)
 - ・令和元年度 161名 (対面形式)
 - ・令和2年度 116名 (オンライン形式)
 - ・令和3年度 118名 (オンライン形式)
- 合計 445名

■ 令和3年度研修参加者の声

- ・大規模災害を受けた時の対応を具体的に感じることができた。
- ・判断する事を経験したことがなかったので、様々な質問(相談)をされる中、判断の難しさを知ることができた。
- ・実災害が起これば、Web会議等の場面が増える可能性があり、参考となった。
- ・自席で受講することができ、Web開催だから参加できた。
- ・臨場感と、実際に起きる不具合も体験でき有効だった。



(令和3年度の研修の様子)

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 青木、木本
TEL: 03-5253-7525